

自然塗装方法



自然塗装には、主にベンガラ、柿渋、乾性油(木の表面で固まる)の荏油、桐油、亜麻仁油、くるみ油などの自然塗料を使用します。特に食器等の塗装には食用にもなる、くるみ油をお奨めいたします。また、艶出し、お手入れには木に浸み込む菜種油、椿油を使用します。



柿渋の原液1升(1.8リットル)に対し、ベンガラ250gの割合で溶かすと約20㎡塗れます。柿渋は鉄と反応し、容器や釘を黒くするので、入れ物はプラスチック容器をご使用ください。



刷毛で均等に塗ります。刷毛は豚毛の腰の強いものを使ったほうがうまく塗れます。



乾く前にウエス(ぼろ布)で木目が見える程度にベンガラを軽く拭き取り、塗る時にできた泡やムラをとります。



2時間くらい経って、ベンガラが乾いたら、ウエス(ぼろ布)で薄く乾性油をすり込むように塗り、1日～2日、風通しの良い所で乾かして完成です。

- 【注 意】
1. 当店の荏油、桐油、亜麻仁油は建築・工芸用で食用にはなりません。
 2. 乾性油は常温では問題ありませんが、使用したウエスなどを固めて置いておき、外気が大変高温になった場合、自然発火の可能性があります。したがって、使用したウエス等は水に浸すなどしてから処分してください。(塗装面は熱が発散するため発火することはありません。)
 3. 塗る木の種類、乾燥具合、また使用する油によって、その仕上がり具合はそれぞれで異なります。実施する前に、木片や目立たない部分でお試しの上、塗装を行なってください。